



日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.18 2016年12月25日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342



今年もお世話になりました！

山本陽子議員の活動ニュース

11月議会の特徴 (日本共産党市会議員団、市会を終えての談話より)

一般会計補正予算 137億6900万円は、国の『未来への投資を実現する経済対策』28.1兆円に対応するもので、市民の要望に応える内容も含んでいることから賛成しました。しかし、そのなかの63億3500万円を占める**臨時福祉給付金**については、今年の1月1日を基準に低所得の方だけを対象に、今後2年半分を一括して1万5000円を給付するもので、暮らしの底上げにはほど遠い内容です。

また、『**子ども若者はぐくみ局**』設置条例案に対しては、子どもの権利条約を守る立場に欠けており、さらに区役所の生活衛生部門が一か所に集約化され、福祉事務所と保健センターを統合することも提案しながら、具体的な人員配置の計画は示されず、課題が大きいことから反対しました。

国は、経済対策として国家予算の4分の1の補正予算を計上しましたが、そもそも地方交付税が減らされるなかで、地方自治体や市民生活に対しては穴埋めに過ぎない内容であると感じました。

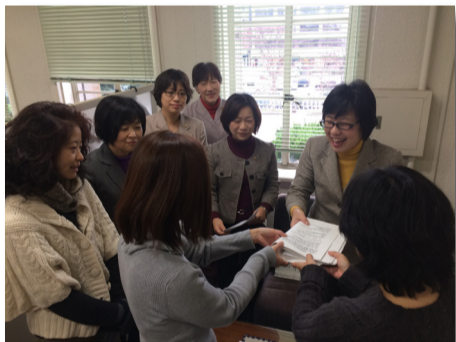
消費税増税や、賃金の低下、社会保障の削減の影響が地域経済にとって深刻であり、おおもとである国の政治を変える必要があります。



中学校給食の実現を!! その後

今 議会に提出された、『全員制の中学校給食の実施』を求める請願ですが、教育福祉委員会で不採択となり、日本共産党市会議員団のみがこれに反対し、他の会派はすべて不採択に賛成したため、不採択となってしまいました。

採択の態度を決する委員会の直前に、山科のお母さんたちが、中学校給食についての保護者へのアンケート108通の中間結果をもって各会派を回り、訴られました。



アンケート結果を受けとる

108人中84人の親が全員制の温かい給食を希望しているのに、その声を押しつぶす教育福祉委員会と他党会派の態度は、お母さんたちの思いを踏みにじるものであり、許せません。



東山自然緑地(疏水公園)の整備に関わる要望アンケート

東 山自然緑地の再整備は以前にもご報告させていただきましたが、実は、2013年に陵ヶ岡・安朱・音羽の周辺地域の合同で、「疏水公園整備の要望署名」がおこなわれていたそうです。地元住民の要望が今回、実るかたちになるということです。

そこで、あらためて地元住民の声を整備に反映していただくために有志で要望アンケートを企画されました。

京都市も12月15日から、同様の意見募集を開始するという事なので、これに合わせておこなうということです。ぜひ、一言でもあなたの声をお寄せください!



→写真は、管内視察の1枚。二条城北西の駐車場建設によって樹木の伐採が進み、世界遺産のコアゾーンが破壊されることとなります。



大きな字で書かれた、たった四文字の手紙。気持ちを届けるにはこれで十分! たまには、喧嘩もするけれど、この感動を忘れてはいけません。あなたたちがいるからこそがんばれる。戦争させない平和な社会を守るため、99%の庶民がふつうに働き、幸せに暮らせる社会をつくるために、また明日も、新年も、がんばります!



そんな時、彼にとっては人生初めてとなる、母への直筆の手紙を書きました。
「かか すき」
ところが最近、その読み書きの回路が突然つながりはじめたのか、いろんなひらがなが急に読めるようになってきました。お友達の名前もゆっくり読みすすめる、濁音の字も理解できるようになりました。片言の言葉の世界から、あふれ出すような言葉の世界へ。それを感じることができました。

赤ちゃんがハイハイし、立つちし、よちよち歩きを始める。一生に一度の成長の瞬間、その感動も、振り返ってみると覚えていないわけではないものです(苦笑)。だからこそ、書き留めておきたいと思う。出会った感動を記したいと思うできごとが最近ありました。
弟君は一二月が誕生日。もうすぐ六歳で、来年四月からは一年生です! 一年生に入ってから読み書きを教えてもらおう...とは言うものの、お姉ちゃんの様子を見ていたら、少しは準備しておかないとついていけないのかな? と心配で、お風呂で覚えられるように壁に、ひらがな表を貼ってみました。名前前は真っ先に読み書きできるようにしたのですが、そのあとがなかなか先に進みません。

とところが最近、その読み書きの回路が突然つながりはじめたのか、いろんなひらがなが急に読めるようになってきました。お友達の名前もゆっくり読みすすめる、濁音の字も理解できるようになりました。片言の言葉の世界から、あふれ出すような言葉の世界へ。それを感じることができました。

子育て、感極まる瞬間!
ママチャリ
子育て日記

